

さかど

ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸739-1

「開設六周年を迎えました」

事務所
相談員



八月一日、さかどロイヤルの園開設六周年を迎えることができました。その記念すべき日に、ささやかながらイベントが開催されました。例年だと、ご入居者に集まっていた餅つき大会を行いました。今年度は各ユニットでの分散開催となりました。施設長の挨拶を皮切りに、お赤飯、天ぷらなどの豪華昼食、そして職員有志によるちんどん屋、流しのギター演奏、ピアノ、ギター、リコーダーによるミニコンサートで記念日を彩りました。

二月下旬頃から全体でのボランティア行事を中止にせざるを得ず、ご入居者の皆様にお楽しみみの時間をなかなか作ることができませんでしたが、開設記念ということもあり、一人でも多くの方々に楽しんでいただきたい、職員も一緒に楽しみたい、という一心で開催したイベントでした。その結果、大いに盛り上がった一日にできたのではないかと思います。

六年前、見ず知らずの関係だった個々の集まりが、今こうしてパツと集って、サツと何かを作り出すことができる集団、人を楽しませることができるよう仲間になったのだな、そういう輪が広がってきたこと、自分が関わることができる幸せ、などと思うと、何とも言えない思いが込み上げてきます。

ゼロから作ったり始めたりするのは、何事においても大変です。マイナス思考に陥りがちです。何もしないのは楽なので、面倒なことは起きません。ただ、苦難を一つひとつ乗り越えて大なり小なり目標を成し遂げた時の達成感は格別なものとなります。それを共有することはまた次へのモチベーションにつながります。もちろん万事うまく

いくことばかりでもありませんが、苦楽を共にできる仲間がいる限り前進できます。七年目に突入します。こちらからも選ばれる施設の「目玉商品」が増えることを願いつつ、頑張りすぎず頑張ってくださいませよう。

「開設六周年 写真」



「笑顔」

二層浅緑のくだり
介護職員



初めまして、二月より入職しました。昨年、介護の資格を取得し介護の仕事に携わるのは初めてですので日々沢山の事を学ばせて頂いております。

そんな日々の中で改めて感じている事は、「人の笑顔は周りも幸せにする」という事です。園では様々なイベントが催されているのですが、今年はコロナ禍という事もあり室内で美味しい食事を召し上がって頂いたり季節を感じて頂いております。園全体では、職員が法被を着てお寿司を握る「お寿司屋さん」やユニット内ではホットプレートを使って焼いていく「お好み焼きパーティー」と、プリンを中心に季節のフルーツを沢山盛り付けた「プリンアラモードを食べよう」などを行いました。

どのイベントも普段の食事とは違い、目の前で出来上がっていく光景や美味しそうな匂いに、ご入居者の皆様は「まだかな？まだかな？」「いい匂い」といった表情でお待ちになられ、料理が出来あがり提供させて頂くと、「美味しいね」「おかわりはある？」とおっしゃり素敵な笑顔を見せてくださいました。その笑顔を見るたびに私たち職員もとても嬉しく幸せな気持ちになります。

「笑顔は最良の薬」という諺もあるように、笑いは心も身体にも良い影響を与えたいと思っております。

これからも、ご入居者の皆様が笑顔で過ごされた楽しいお話をお伝えしていきたいと思っております。



「半年間の歩み」

一層浅緑のくんだり
介護職員



四月に新しい年度となつてから早くも半年が過ぎようとしています。例年とは違い外出もままならない日々となつておりますが、ここで一層の半年間の余暇活動を振り返つてみようと思ひます。

四月三日にはおやつレクとして中庭のウッドデッキにて炭火で炙つたマシユマロや焼きリンゴを作りました。バナラアイス添えて召し上がつていただくと、みなさんとても美味しそうに召し上がつておりました。また三十日には柏餅風どら焼き作りも行つています。

五月は暖かくなつてきましたので施設周辺にお散歩に出掛けることが多くなつていました。心地よい日差しや風を感じながらおしゃべりも弾んでおられました。おやつレクとしては焼き団子やリンゴのコンポート作りも行つています。

六月は十二日に楽器のできる職員がギターとピアノカを演奏しながら演奏会&合唱会を行いました。「北酒場」や「ふるさと」などみなさんがご存じの曲を中心に歌いながら楽しんでいただけました。また二十一日にはかるた大会も開かれ、真剣な表情が垣間見られていました。七月は十九日にたこ焼き、二十六日にはあじさい風ゼリー作りを行っています。

八月には花火大会を予定してはいたのですが、記録的な猛暑が続いていた期間だったこともあり夕方でも三十度を超える暑さだったため九月以降に延期となりました。

これからもしばらくは今までの日常に戻ることは難しいですが、ご入居者のみなさまの楽しみに繋がるような取り組みを今後も考えていきたいと思ひます。



「夏の風物詩！ スイカ割り」

三層鶯のくんだり
介護職員



長い梅雨が明け少し遅い夏がやって来ました。八月六日午後三層亜麻・鶯ユニットで一年に一度の夏の風物詩「スイカ割り」がありました。

職員からやり方を聞いたあと、いざチャレンジ！お一人ずつ棒を使い叩いてもらいました。「がんばれー」「えい！」「やあー」「そこだ！」と掛け声が飛び交いました。まわりで皆が見守る中「いいよー」と恥ずかしながらも力いっぱいスイカを叩きました。何人か叩いた時スイカは割れ、大盛り上がりでした。

スイカ割りを楽しんだ後は一口大に切つたスイカ、フルーツゼリー、バナナジュースと夏のおやつを皆で召し上がり、楽しいひとときを過ごしました。「おいしかった、お腹いっぱい！」と満足して頂けたようです。全員で集合写真も撮り楽しい夏の思い出の「コマを残した午後になりました。「たまにはいいもんだ！」と楽しんで頂けたようでした。



「本気になれること」

二層鶯のくんだり
介護職員



皆さんは本気で何かをする事はありますか？私は少し前に、カメラマンをお願いされ、友達がキャプテンを務めている草野球の大会に初めて参加してきました。趣味が写真撮影という事もあり、楽しみながら本気でプレーしている仲間達をどの角度、高さから撮れば上手く撮れるか探しながら自分自身も本気で写真を撮る事ができました。

二十代～三十代の経験者から初心者まで本気で楽しみながら試合に臨んでいました。チャンスで打てず結果は最下位でしたが、応援しながら写真を撮っていてすごく皆の本気が伝わってくる試合でした。

年齢を感じさせないぐらい何かに夢中になり、本気になる事はすごい事だと改めて感じました。また、相談したら一緒に今後の事とか考えようって声をかけてもらい一緒にいる人って本当に大事だなと思ひました。

「一年間の振り返り」

四層亜麻のくんだり
介護職員



四層亜麻のくだりの職員です。さかどロイヤルの園に入職し、九月一日で一年目になりました。

この一年を振り返ると入職した当時より「こ」、さかどロイヤルの園でのやり方、前の職場でのやり方の違いがはつきりと分かってきました。

仕事はゆっくりと一つ一つ覚え、分からないところがあれば先輩に聞いて自分なりのやり方ではなく、ご入居者に合った介助、「コミュニケーション」をとり、安心できる日々を送っていただけるように心がけて仕事を頑張っています。

